

研究報告

2012年度 科学研究費 基盤研究(A) 年次研究会

「立法支援プロジェクトの今後に向けて」 報告

角 田 篤 泰

〈目 次〉

| | |
|-------------------------|-------|
| はじめに | 角田 篤泰 |
| 報告(1)「自治体における法務研修と立法支援」 | 田中 孝男 |
| 報告(2)「eLenの現状と今後」 | 角田 篤泰 |

はじめに

本稿は、科学研究費基盤研究(A)の課題(24240040)「e-Legislationに基づく法制執務方法論の情報科学的基礎付けと検証」の助成を受けて進めている研究プロジェクトの年次研究会の報告をまとめたものである。この研究会は、2013年2月21日(13:00～17:00)に名古屋大学文系総合館7階のカンファレンスホールにて開催された。研究会タイトルは「立法支援プロジェクトの今後に向けて」である。これは広く一般を対象に公開した研究会であり、自治体職員の方々などにも案内を差し上げ、計40名の来場者数であった。この年次研究会では、次の3つの講演が行われた。

1. 「自治体法務の課題 — ドイツ・スイスと比較して」
九州大学大学院法学研究院 主幹教授 木佐 茂男
2. 「自治体における法務研修と立法支援」
九州大学大学院法学研究院 准教授 田中 孝男
3. 「eLenの現状と今後」
名古屋大学大学院法学研究科 特任准教授 角田 篤泰

なお、これらの講演の他、会場では eLen 条例データベース・システムの実演も行った。本稿では、これら3つの講演のうち、2つについて掲載している。まず、田中孝男先生の講演に関しては、予稿として配布された資料を基に加筆修正頂いた報告を掲載させて頂いた。次に、本稿筆者が行った報告については、口頭発表の内容に従い、若干の補足を加えてまとめたものを掲載した。

本研究課題の研究目的は、研究費申請時にその調書の中で提示したものであり、次の通りである。

「e-Legislation（電子化法制執務）の方法論と支援システムの提供によって、地方分権化や行政のスリム化を支援するとともに、政策形成や条文記述について情報科学的で定量的な分析素材となるような客観化を促進し、立法過程をいわば「工学」的に扱う学問的基盤を与える。これによって、法情報学を立法分野にも展開する。e-Legislation とは、立法過程における政策立案・法案記述の作業を深いレベルまで電子化し、品質向上と効率化を図るものである。その電子化とは、政策構造自体の知識（オントロジ）工学的電子化、法令等の準則（テンプレート）の自動合成、政策構造に基づく条文の自動作成、立法事実獲得や合意形成の議論支援が中心となる。多くの自治体や一部の中央省庁の職員の方々の協力を仰ぎながら検証し、現実的な社会貢献もある研究・開発を行う」

この研究は、筆者の先行研究であるソフトウェア工学の手法を立法過程の作業に取り入れるという研究の延長線上にあり¹⁾、先行研究では様々な自治体を実際に訪問し、立法作業に対する支援要求の調査を行ってきた。また、科研費基盤研究（S）の課題（23220005）「漢字文化圏におけるわかりやすい法情報共有環境の構築」の一部として、分かりやすい法情報の獲得手法に関する研究の中でも準備を進めてきた。これらの先行研究となる研究活動を契機として、本研究は申請されたものである。

1) 角田篤泰「ソフトウェア工学との類似性に着目した立法支援方法（一）～（四・完）」名古屋大学法政論集 235 号（2010 年）41-99 頁、236 号（2010 年）289-341 頁、237 号（2010 年）191-252 頁、238 号（2011 年）209-253 頁、角田篤泰・齋藤大地・外山勝彦「ソフトウェア開発過程との類似性に基づく立法支援システム」第 23 回人工知能学会全国大会講演論文集 2F2-4（2009 年）。

本研究会のねらいは、本研究課題に取り組み始めた初年度の総括を行うとともに、立法支援について、海外の動向や教育の問題など、少し広い視野で研究内容について検討するための契機とすることにある。そのため、2012年度の研究総括の他に、木佐茂男教授をお招きして「自治体法務の課題 — ドイツ・スイスと比較して」という題目で、広い視点からご講演頂いた。さらに、田中孝男准教授をお招きして「自治体における法務研修と立法支援」という題目で、自治体法務の教育面についてご講演頂いた。なお、初年度の研究実績の報告については、後に掲載する筆者の報告部分を参照頂きたい。

最後に、本研究会の準備進行については、名古屋大学大学院法学研究科特任助教の島亜紀氏、同研究科研究員の齋藤大地氏、成松宏気氏、及び久田亜有美氏にご助力頂いた。さらに、久田氏には、本稿の編集についても補助して頂いた。ご協力頂いた方々に、この場をお借りして感謝の意を表したい。

